

県立長野図書館の今後の情報システム基盤のあり方について

1 システム更新の基本方針

基本業務システムについては、円滑な図書館業務を行うため

- ① 情報セキュリティの確保
- ② 安定した操作性
- ③ 業務に必要な外部連携の実績
- ④ 確実な運用・保守体制、の観点から、

同規模図書館（都道府県・政令指定都市立）で導入実績のあるパッケージソフトによるシステムの構築を行なう。

基本業務システムは、保有する書誌・所蔵情報、利用者情報などを保全し、災害・事故等発生時における業務継続の確保を図ることから、受託者が提供するデータセンターを活用したクラウドサービスを採用する。

「信州ナレッジスクエア」は、運用開始以来、地域のデジタル情報のポータルサイトとして高い評価を受けてきた。今回の更新にあたっては、現行の構成を維持し、それぞれのサービスのバージョンアップ等による機能向上を基本方針とする。

2 課題

（１）価格面

- ・半導体不足、物流コストの上昇によるハード機器の価格上昇
- ・電気料金の上昇によるクラウドセンター使用料の上昇
- ・システム関連作業単価の上昇

（２）機能面

- ・ウェブ上のサービスの向上（完全オンラインによる利用登録。マイナンバーカードの活用等）
- ・「信州デジタルコモンズ」の参加館増とストレージ容量
- ・「信州デジタルコモンズ」での DOI（Digital Object Identifier）の付与
⇒外部資金獲得の検討